

優秀（岐南工業 野村龍騎さん）崩れゆく絆

毎年優秀な作品を送ってくれる同校の、これまたシンプルで完成された作品である。出っ張る造形は十字架の一部にとどめてあるが、効果的で目をひく。地図に十字架というデザインはそこそこ見られたが、地球を斜めから見た俯瞰的な形にしてあるところにはセンスが感じられる。文字を縁取る造形など、細かいところまで配慮があるのも良い。コピーの「不幸」と「幸せ」の対比が、やや不対応でリズムを崩しているのは惜しい。完成度の高い秀作である。

優秀（クラーク記念国際 寶池陽生さん）ChatGPT の全貌

動物や人間の目が見る者の注意をひくことを生かしたデザイン。フクロウの目を中心に、それ以外はコピーのみとし、背景も黒で、目とコピーを引き立たせている。コピーがやや「売らんかな」な感じのするところは気になるが、定番の形式でもある。ワンポイントの赤文字とフクロウの緑目のほかは、全て白黒にするという色使い、字の大きさをうまく考えた強調の仕方など、完成されており、玄人くさい秀作である。

優秀賞（豊橋商業 齊藤ゆりのさん）むかしむかしあるところに死体がありました

シンプルに抑えたデザインで、強く訴えかける作品になっている。障子は実際の障子紙を使用している。血痕を滲ませる、蝋燭の炎まわりを淡く光らせるなど、シンプルな分、小さな工夫がより際立つようになっている。雰囲気はかなりおどろおどろしく、課題図書の内容とは若干異なる面もあるが、客の目をひく力があることは良い。全体が完成されているだけに、手指のデザインがやや雑になっているところは惜しい。

優秀（名古屋市立工芸 田中和寿さん）崩れゆく絆

メッセージの文字「支配に、抗え」の力強さの際立つ作品。デザインがシンプルなだけに、よりコピーが強く、またコピーの文字の見た目が強く訴えてくる。「抗え」がやや難読漢字かもしれないところがまた良い。他のコピーが縦書きで、縦横混在には若干引っかかりを感じる。地図と十字架の組み合わせもきれいに仕上がっており、文字の勢いを殺していない。洗練された秀作である。

優秀（沼津工業 井木智博さん）崩れゆく絆

極めてシンプルでコピーもないが、出っ張り、背景の黒いベースがひび割れている造形が存在感を放ち、客に何かを訴えかける力がある。白黒のモノトーンは意図しての配色だ

が、遠目にはややひび割れ構造が見づらい面がある。ハンマーを単純な形にしたのは造形上の制約なのか、あるいは機械文明による植民地支配の冷たさをイメージしているのか。荒削りだがそれだけに目をひくところのある作品。

優秀（名城大学附属 木村嘉奈子さん）なまけていません。

全体がラインのやりとりになっているというアイデアは秀逸である。メッセージの時間を見ると、最後の返事「なまけていません。」までに時間がかかっていることがわかるが、そうした細かい部分へのこだわりを感じる。作りが手書き風の未完成に見えるところも逆に目をひきやすい。とにかくアイデアで魅せる傑作である。全体を縦にした方が更にラインメッセージ風になったかもしれない。